学校支援と地域の絆づくりに支えられて

～「豊洋地区ふるさと下関協育ネット」“ＨｏＭｅＳ（ホームズ）”～

下関市立豊洋中学校

１　学校と地域の概要

「先生方は転勤していくけれど、私たち地域の者は５年後、１０年後も豊洋中学校がすばらしい学校であってほしいと考え、活動しています。」本校の学校運営協議会会長が、折に触れて語られる言葉である。

本校では、学校運営協議会の立ち上げに先立って、平成２２年度に「学校支援地域本部」として「ＨｏＭｅＳ（ホームズ)」という組織が発足した。元ＰＴＡ役員を中心メンバーとして結成され、主に学校行事の支援が行われた。口コミで協力者が増え、現在は、「豊洋地区ふるさと下関協育ネット“ＨｏＭｅＳ（ホームズ)”」として、①学力向上、②環境整備、③地域の絆づくり、の三つの柱からなる取組が展開されている。学校運営協議会会長もその中心メンバーである。

豊洋中学校区は、下関市豊浦町の南に位置し、校歌に「緑濃し黒井の里、波清し室津の浜」と歌われる黒井地域と室津地域からなる。豊洋中学校には、それぞれの地域にある誠意小と室津小の二つの小学校から生徒が入学してくる。今回は、主に中学校を中心とした主な取組を紹介する。

２　活動の概要

（１）学力向上

ア　英語検定と漢字検定

ＨｏＭｅＳ（ホームズ）主催で、年間に２回ずつ開催される。参加者の募集や当日の運営などは原則としてＨｏＭｅＳ（ホームズ）のメンバーが担ってくださる。平日の夜実施されるが、中学校は会場を提供し、人手が足りないときに会場監督のお手伝いなどを行う。教職員の負担軽減という点で非常に助かっている。対象は中学校区在住者となっており、小学生や高校生、時には保護者や地域の方も一緒に受検されるので、地域の活性化にも一役買っている。

イ　英語寺子屋

夏休み中に中学校３年生を対象に行われる、英語の苦手克服学習講座である。対象生徒は限定されるが、コーディネーターのお世話で、地域の英語指導者にボランティアでお手伝いいただいている。

（２）環境整備

ア　プール周辺の草刈り

６月、水泳シーズンが近づくと、ＨｏＭｅＳ（ホームズ）のメンバーや地域有志が草刈り作業をしてくださる。おかげで、校舎から少し離れたプールへの移動もスムーズに行うことができる。

イ　校地の草刈りや樹木の剪定・伐採・処分

６月と８月にＰＴＡ主催の奉仕作業が行われるが、その際もＨｏＭｅＳ（ホームズ）のメンバーや地域有志が手伝ってくださる。また、文化祭など大きな学校行事等の前にも作業を行っていただくことがある。

（３）地域の絆づくり

地域の絆を深める活動を行いたいという願いから始まった活動で、主なものは次の二つである。若手からベテランまで、様々な形で地域の協力をいただいている。

ア　芝生コンサート

ＨｏＭｅＳ（ホームズ）を中心とした地域有志と本校の吹奏楽部がコラボした音楽コンサートである。地域にもご案内して鑑賞いただく恒例行事となっている。かつてグラウンドの一部を芝生化したことを記念して屋外で始まった。現在は、天候や健康への配慮から体育館で実施している。地域有志の知人の方などに、ボランティアで音響等の機材提供や当日の運営協力もいただいている。

イ　どんど焼き

グラウンドの一部を利用して行う、大がかりな「どんど焼き」がメインであるが、同時に「書き初め大会」「もちつき」「竹馬競争」などの伝統行事も行う。どんど焼きには、地域の多くの方がしめ縄などを持ち込まれる。豚汁やぜんざいの炊き出し、景品も準備され、小中学生や親子連れなどが伝統行事を楽しむ姿がある。グラウンドが高台にあるため、安全上の配慮で「どんど焼き」は櫓を組まずに、深く掘った穴を使って行うのが特徴である。

３　成果と課題

ＨｏＭｅＳ（ホームズ）は、現在、学校運営協議会の意向を実現する学校応援団として組織されている。いわゆる実働部隊として学校行事などでも大いにそのマンパワーを発揮していただき、例えば駐車場係は教職員や保護者の力を使わずに成り立っている。また、協育ネットの仕組みによって、小中連携も進んできた。

一方でＨｏＭｅＳ（ホームズ）発足から９年目を迎えている現在、立ち上げ当時の熱い思いや歴史を教職員が知り、さらに互いの理解を深めて連携していけるような取組の必要性を感じている。地域とともにある学校として、学校・家庭・地域が一体となった教育活動が充実するよう取り組んでいきたい。